３．　農空間をみんなで活かそう！

―大阪農空間の多様な機能の発揮促進－

**（１）農業・農空間での活動に参加しやすい仕組みづくり**

府民のみなさんが、農業・農空間に関する様々な活動に参加できるようにするとともに、交流を通じた新たなコミュニティづくりを進めます。プラットフォーム（＊）により、体験や交流、棚田の景観などの保全活動に参加しやすくしたり、企業のみなさんが農業・農空間へのCSR（＊）や福利のための活動を実践できるようにします。

**【取組内容】**

1. **農空間づくりに気軽に参加できるプラットフォームづくり**

・府民が農業・農空間を愉しみ、交流するプログラムの発信、相談窓口の設置

・農業ボランティア、半農半X（＊）等、府民の農を活かした活動機会の充実

・企業へのCSR活動のフィールドの提供や、企業に地域のサポーターになってもらう取組みの推進

・仕事、住まい、コミュニティなど府民の活動をサポートする中間支援機能の確保

・活動団体同士の情報交換・交流・研修の場や府民と交流するきっかけづくりの場の提供

＜5年後の目標＞

農空間づくりに参加する府民の増加　6,000人（42,000 → 48,000人）

※NPOや自治会、企業（CSR活動）などの参加人数を含む

**（２）農を活かした地域づくりの推進**

ため池や用水路の共同管理など農業を支える取組みの中で培われてきた地域協働の輪を広げながら、府民のみなさんとともに農を活かした地域づくりを進めます。地域の将来について話し合い、その実現に向けて行う活動や集落ぐるみで農業を支える取組みを支援します。

**【取組内容】**

1. **農を活かした地域協働活動の推進**

・地域住民（販売農家、自給的農家、非農家）による農空間づくりプラン（＊）の検討と具体化の推進

・地域協働や府民協働による農空間の多面的機能の保全・活用

・遊休農地対策とあわせた集落機能の維持・活性化

・府民協働活動を通じた農空間の多面的機能の理解促進

・農空間保全地域制度の充実

＜5年後の目標＞

協働活動に取り組む地区数の増加　10地区（74 → 84地区）

**（３）地域力による安全安心の確保**

府民のみなさんとともに地域の安全安心を確保します。ため池ハザードマップ（＊）の作成や農業用水路や農地を活用した防災訓練の実施など、地域の自主防災力を高める取組みを進めるとともに、ため池の低水位管理（＊）や治水活用などの雨水貯留機能を活用した減災に取り組みます。

**【取組内容】**

1. **地域力による安全安心の確保**

・ため池防災減災アクションプラン（＊）に基づく減災対策の総合的な取組みの推進（ハザードマップの作成、低水位管理や治水活用の促進、耐震診断の推進、防災訓練の実施など）

・大規模災害時に農地を避難、復旧、復興に活用する防災農地登録制度の推進

・農業用水を災害時に活用する防災水利協定（＊）の推進

・地籍調査の推進

＜5年後の目標＞

ため池のハザードマップ作成などのソフト対策の取組割合　30％増（40 → 70％）

※対象：防災・減災対策を重点的に推進するため池　　840箇所